

年間授業計画（令和8年度）

久留米西高等学校 令和4年度以降入学生用

教科

地理歴史

科目

地理総合

教科：地理歴史

科目：地理総合

単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～6組

教科担当者：（1組：渡辺浩章）（2組：渡辺浩章）（3組：渡辺浩章）（4組：渡辺浩章）（5組：渡辺浩章）（6組：渡辺浩章）

使用教科書：（高等学校 新地理総合（帝国書院）・新詳高等地図（帝国書院））

教科：地理歴史の目標：

【知識及び技能】世界の生活文化の多様性や防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を知る。

【思考力、判断力、表現力等】地理に関わる事象の特色や相互の関連を、位置や分布、自然環境、地域などに着目して多面的・多角的に考察したり、考察したことを効果的に説明したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】地理に関わる事象の特色や相互の関連を、位置や分布、自然環境、地域などに着目して多面的・多角的に考察したり、考察したことを効果的に説明したりする力を養う。

科目：地理総合の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の生活文化の多様性や防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を知る。	地理に関わる事象の特色や相互の関連を、位置や分布、自然環境、地域などに着目して多面的・多角的に考察したり、考察したことを効果的に説明したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについて理解を深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	現代世界の国家と領域	・現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結びつきなどについて理解する。	観察 ノート 発言 話し合い活動	○	○	○	5
	グローバル化する世界	・現代世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	観察 ノート 発言 話し合い活動	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	地球上の位置と時差 地図の役割と種類	・日常生活の中でみられるさまざまな地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解する。 ・地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現する。	観察 ノート 発言 話し合い活動	○	○	○	6
	世界の気候と人々の生活	・世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。 ・世界の人々の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	観察 ノート 発言 話し合い活動	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
2 学期	世界の言語・宗教と人々の生活	・世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。 ・世界の人々の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	観察 ノート 発言 話し合い活動	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	歴史的背景と人々の生活 世界の産業と人々の生活	・世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。 ・世界の人々の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	観察 ノート 発言 話し合い活動	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
3 学期	世界の産業と人々の生活	・世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。 ・世界の人々の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	観察 ノート 発言 話し合い活動	○	○	○	8
	自然環境と防災	・我が国をはじめ世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解する。 ・地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	観察 ノート 発言 話し合い活動	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
							合計 70

年間授業計画（令和8年度）

久留米西高等学校 令和4年度以降入学生用

教科 **地理歴史科**

科目 **歴史総合**

教科： **地理歴史科** 科目： **歴史総合** 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（1組～3組：遠藤）（4組～6組：菅澤）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）

使用教科書：（ ）

教科 **地理歴史科** の目標：

【知識及び技能】 近現代の諸事象について、世界と其中的の日本を相互的な視点から捉え、諸資料から歴史に関する情報を調べまとめる技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】 諸事象を多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握・考察・構想したことを説明したり、議論する力を身につける。

【学びに向かう力、人間性等】 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、課題を主体的に追究・解決しようとする態度を養うとともに、他国や自国の文化を尊重することの大切さを深める。

科目 **歴史総合** の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
知識：諸事象の因果関係や、世界と日本を広い視野で捉え、近現代の歴史を理解する。 技能：諸資料から歴史に関する様々な情報を適切にまとめる技能を身につける。	諸事象の意味や歴史的意義、特色などを、比較・推移・相互の関連等に着目しながら考察し、課題について考察する力を身につける。	諸事象についての課題を主体的に追究・解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察を通して、他国や自国の文化を尊重することの大切さを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	①18世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響に着目して、経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを考察し、表現する。	「アジアの繁栄と西洋近代の形成」 18世紀の東アジア 結び付くアジア諸地域 18世紀のヨーロッパとアジア 市民革命と近代社会 産業革命のはじまり 世界市場の形成	小テスト 課題 討論・発表 学習の振り返り等	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	②産業革命や国民国家の形成の背景や影響に着目して、政治や経済の変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを考察し、表現する。	自由主義とナショナリズム 東アジアの国際関係の変化と日本の開国 アジアの諸国家とその変容 明治維新と東アジアの国際関係 立憲制の広まり 世界経済の変化と日本の産業革命 帝国主義と植民地 日清戦争と華夷秩序の終結 帝国主義諸国の競合と国際関係 植民地支配と植民地の近代 20世紀はじめの世界	小テスト 課題 討論・発表 学習の振り返り等	○	○	○	8
	定期考査		小テスト 課題 討論・発表 学習の振り返り等	○	○	○	8
2 学 期	第一次世界大戦の展開、日本やアジアの経済成長、ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭、ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ、総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解している。	第一次世界大戦の展開 国際協調体制の形成 ソヴィエト連邦の成立 アメリカ合衆国の台頭 アジアの経済成長と移動する人々 反植民地主義の高揚と国際秩序の変容	小テスト 課題 討論・発表 学習の振り返り等	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	大衆の政治参加と女性の地位向上、大正デモクラシーと政党政治、大量消費社会と大衆文化、教育の普及とマスメディアの発達などを基に、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ、大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解している。	民主主義の進展と社会変革の動き 大衆化を支えるテクノロジー	小テスト 課題 討論・発表 学習の振り返り等	○	○	○	6
	世界恐慌、ファシズムの伸長、日本の対外政策などを基に、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ、国際協調体制の動揺を理解している。	世界恐慌 アジア・アフリカと大衆社会 国際協調体制の崩壊 日中戦争と深刻化する世界の危機	小テスト 課題 討論・発表 学習の振り返り等	○	○	○	7
3 学 期	第二次世界大戦の展開、国際連合と国際経済体制、冷戦の始まりとアジア諸国の動向、戦後改革と日本国憲法の制定、平和条約と日本の独立の回復などを基に、諸資料から歴史に関する情報を適切にまとめ、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解している。	第二次世界大戦の展開 連合国の戦後構想 アジア太平洋戦争と日本の敗戦 連合国の占領政策 再編されるアジアと冷戦	小テスト 課題 討論・発表 学習の振り返り等	○	○	○	9
	脱植民地化とアジア・アフリカ諸国、冷戦下の地域紛争、先進国の政治の動向、軍備拡張や核兵器の管理などを基に、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ、国際政治の変容を理解している。	冷戦の拡大と第三勢力 キューバ危機と核兵器の管理 脱植民地化の進展と地域紛争 計画経済と開発	小テスト 課題 討論・発表 学習の振り返り等	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
				○	○		合計 70

年間授業計画（令和8年度）

久留米西高等学校 令和4年度以降入学生用

教科

地理歴史

科目

日本史探究

教科： 地理歴史

科目： 日本史探究

単位数： 3 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 6 組

教科担当者： (1組：志村) (2組：志村) (3組：志村) (4組：田中) (5組：田中) (6組：田中)

使用教科書： (詳説日本史 日本史探究 (山川出版社))

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】

我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

歴史的事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、相互の関連などに着目して、概念などを活用して考察したり、課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察したことを説明・議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

諸事象について、課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 日本史探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
知識：諸事象の因果関係や、世界と日本を広い視野で捉え、近現代の歴史を理解する。 技能：諸資料から歴史に関する様々な情報を適切にまとめる技能を身につける。	諸事象の意味や歴史的意義、特色などを、比較・推移・相互の関連等に着目しながら考察し、課題について考察する力を身につける。	諸事象についての課題を主体的に追求・解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察を通して、他国や自国の文化を尊重することの大切さを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	①大航海時代と呼ばれる世界史的背景を踏まえて、ヨーロッパ人の東アジアへの進出とその影響を考察する。 ②織田信長の統一事業、豊臣秀吉の天下統一、秀吉の朝鮮侵略と続く織豊政権の特色と意義、その後の時代への影響について理解する。	第8章 近世の幕開け 1 織豊政権 2 桃山文化	小テスト 課題 討論・発表 学習の振り返り等	○	○	○	8
	①江戸幕府の成立による幕藩体制の確立過程を理解する。 ②江戸幕府の鎖国政策について、単なる対外貿易の遮断ではないことを理解し、鎖国後の貿易関係の在り方も含めてその影響と歴史的意義について考察する。	第9章 幕藩体制の成立と展開 1 幕藩体制の成立 2 幕藩社会の構造	小テスト 課題 討論・発表 学習の振り返り等	○	○	○	9
	定期考査			○	○	○	1
	①17世紀後半から18世紀前半までの江戸幕府の安定期について、その平和と秩序の確立の視点で考察する。 ②幕藩体制の安定期の農業・商工業などの発展について、諸産業相互の関係やその社会的役割を踏まえて考察する。	3 幕政の安定 4 経済の発展 5 元禄文化	小テスト 課題 討論・発表 学習の振り返り等	○	○	○	8
	①農村や都市の変容により幕藩体制が動揺する中、幕府や諸藩がおこなった諸改革の意義とその影響を考察する。 ②欧米諸国のアジア進出による国際情勢の変化やそれに対する幕府の対処を踏まえて幕府が衰退していく過程を理解する。	第10章 幕藩体制の動揺 1 幕政の改革 2 宝暦・天明期の文化 3 幕府の衰退と近代への道 4 化政文化	小テスト 課題 討論・発表 学習の振り返り等	○	○	○	9
	定期考査			○	○	○	1
2 学期	①国際社会に組み込まれるという国際環境の変化に着目して、日本の開国を社会・経済面での変化と関わらせて考察する。 ②幕末の動乱における天皇を中心とする統一国家構想の芽生えから幕府の滅亡、旧幕勢力の一掃に至るまでの経過を理解する。	第11章 近世から近代へ 1 開国と幕末の動乱 2 幕府の滅亡と新政府の発足 第12章 近代国家の成立 1 明治維新と富国強兵 2 立憲国家の成立	小テスト 課題 討論・発表 学習の振り返り等	○	○	○	20
	定期考査			○	○	○	1
	①東アジアをめぐる国際環境が変容する中、不平等条約の改正交渉が進展した過程や、日清戦争に至る経緯について理解する。 ②第一次世界大戦前後の政治の動向について、政党政治の発展や日本の中国進出の状況を踏まえて理解する。	第13章 近代国家の展開 1 日清・日露戦争と国際関係 2 第一次世界大戦と日本 3 ワシントン体制	小テスト 課題 討論・発表 学習の振り返り等	○	○	○	10
	①日清・日露戦争前後にかけて資本主義国家の基礎が確立された過程を、産業革命や近代産業の発展に着目して理解する。 ②労働者や都市中間層の拡大による大衆社会の基盤の成立に着目し、都市化や市民生活の変化を踏まえて、大衆文化の特色について考察する。	第14章 近代の産業と生活 1 近代産業の発展 2 近代文化の発達 3 市民生活の変容と大衆文化	小テスト 課題 討論・発表 学習の振り返り等	○	○	○	10
	定期考査			○	○	○	1
3 学期	①戦後恐慌から昭和恐慌に至る国内経済の動揺について、国内・国外の経済状況と対策に着目して理解する。 ②日本の対外政策の推移について、世界情勢や軍部の政治的進出に着目して、政党内閣の崩壊や国際的孤立の過程について理解する。	第15章 恐慌と第二次世界大戦 1 恐慌の時代 2 軍部の台頭 3 第二次世界大戦	小テスト 課題 討論・発表 学習の振り返り等	○	○	○	13
	①東アジア情勢の変化を踏まえ、連合国による占領が終結して日本が独立した意義を考える。 ②連合国による日本占領の終結と、その後の日米関係の継続について、様々な国の立場から考察する。	第16章 占領下の日本 1 占領と改革 2 冷戦の開始と講和	小テスト 課題 討論・発表 学習の振り返り等	○	○	○	13
	定期考査			○	○	○	1 合計
							105

久留米西高等学校 令和4年度以降入学生用

教科 **地理歷史**

科目 世界史探究

教 科：地理歷史 科 目：世界史探究

单位数：3 单位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（1組～3組：遠藤）（4組～6組：菅澤）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）

使用教科書：（ ）

教科 **地理歴史** の目標：

【知識及び技能】我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 歴史的事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、相互の関連などに着目して、概念などを活用して考察したり、課題を把握・解決を視野に入れて構想したりする力や、考察したことを説明・議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 諸事象について、課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 世界史探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
諸地域の歴史的特質の形成、諸地域の交流・再編、諸地域の結合・変容、地球世界の課題について、自ら情報を調べまとめる技能を身につける。	諸事象を多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握・考察・構想したことを説明したり、議論する力を身につける。	諸地域の歴史的特質に理解を深め、近現代の歴史については、課題を主体的に追究・解決しようとする態度を養う。また、他国や自国の文化を尊重することの大切さを深める。

[illegible]

教科：地理歴史

科目：地理教養

単位数：2

単位

対象学年組：第3学年 1組～6組

教科担当者：水曜日：志村 嗣文

金曜日：渡辺 浩章

使用教科書：（高等学校 新地理総合（帝国書院）・新詳高等地図（帝国書院））

教科 **地理歴史** の目標：

【知識及び技能】世界の生活文化の多様性や防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を知る。

【思考力、判断力、表現力等】地理に関わる事象の特色や相互の関連を、位置や分布、自然環境、地域などに着目して多面的・多角的に考察したり、考察したことを効果的に説明したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】地理に関わる諸事象について、課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、多様な生活文化を尊重しようとするものの大切さについて理解を深める。

科目 **地理教養** の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の生活文化の多様性や防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を知る。	地理に関わる事象の特色や相互の関連を、位置や分布、自然環境、地域などに着目して多面的・多角的に考察したり、考察したことを効果的に説明したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、多様な生活文化を尊重しようとするものの大切さについて理解を深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 時 数
1 学 期	グローバル化する世界	・世界を結ぶ航空交通の発達、貿易を支える海上交通の発達、陸上交通の発達と変化について理解し、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・通信技術の発達と一体化する世界、情報通信技術の発達で変化する生活行動、情報通信技術が生み出す格差について理解し、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・観光のグローバル化、多様化する観光のスタイルについて理解し、多面的・多角的に考察し、表現している。	観察 調べ学習 話し合い活動	○	○	○	9
	自然環境と防災	・我が国をはじめ世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解する。 ・地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現する。	観察 調べ学習 話し合い活動	○	○	○	3
	歴史的背景と人々の生活	・世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。	観察 調べ学習 話し合い活動	○	○	○	9
	世界の産業と人々の生活	・世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。	観察 調べ学習 話し合い活動	○	○	○	2
	定期考査			○	○		1
2 学 期	地球的課題と国際協力	・世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解する。 世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であることなどについて理解する。	観察 調べ学習 話し合い活動	○	○	○	27
	定期考査			○	○		1
3 学 期	地球的課題と国際協力	・世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。		○	○	○	18
							合計
							70

教科： 地理歴史 科目： 日本史特講 単位数： 4 単位
対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 6 組
教科担当者： （1～6組：志村）
使用教科書： （詳説日本史 日本史探究（山川出版社））
教科 地理歴史 の目標：

- 【知識及び技能】 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 歴史的事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、相互の関連などに着目して、概念などを活用して考察したり、課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察したことを説明・議論する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 諸事象について、課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目	日本史特講	の目標：
【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】
知識：諸事象の因果関係や、世界と日本を広い視野で捉え、近現代の歴史を理解する。 技能：諸資料から歴史に関する様々な情報を適切にまとめる技能を身につける。		諸事象の意味や歴史的意義、特色などを、比較・推移・相互の関連等に着目しながら考察し、課題について考察する力を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】		諸事象についての課題を主体的に追求・解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察を通して、他国や自国の文化を尊重することの大切さを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準	知	思	態	配当 時数
1 学期	・旧石器文化から縄文文化への変化、弥生文化の成立などを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ、黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成、先史社会の特色を理解する。	先史社会の生活と文化 律令国家の形成と古代文化の展開	小テスト 課題 討論・発表 学習の振り返り等	○	○	○	16
	・貴族政治の展開、平安期の文化、地方支配の変化や武士の出現などを基に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ、律令体制の再編と変容、古代の社会と文化の変容を理解する。	摂関政治と貴族文化 中世社会の成立	小テスト 課題 討論・発表 学習の振り返り等	○	○	○	17
	・武家政権の成立と展開、産業の発達、宗教や文化の展開などを基に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ、武家政権の伸張、社会や文化の特色を理解する。	武家政権の成立と朝廷	小テスト 課題 討論・発表 学習の振り返り等	○	○	○	7
	・武家政権の変容、日明貿易の展開と琉球王国の成立、村落や都市の自立、多様な文化の形成や融合などを基に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ、地域権力の成長、社会の変容と文化の特色を理解する。	武家支配の広がり国際交流	小テスト 課題 討論・発表 学習の振り返り等	○	○	○	7
	定期考査			○	○	○	1
2 学期	・日露戦争は、日本の国際的な地位をどのように変化させ、どのように国際関係が変化したのかを理解する。 ・日露戦争後の日本で、民衆の不満が高まった背景や原因、戦争が及ぼした影響などに着目して考察する。	日露戦争と帝国日本 日露戦争後の社会と政治 両大戦間期の日本	小テスト 課題 討論・発表 学習の振り返り等	○	○	○	22
	・大正期の産業や文化にはどのようなものがあつたか理解し、産業の発達の背景や影響について考察する。 ・選挙権の拡大が起こった背景やその意義について考察し、地域社会における労働や生活の変化などを理解する。 ・第一次世界大戦中と戦後に日本はどのような国際関係を築いたのかを考察し、その結果を理解する。	都市化・重工業化と生活の変化 政党政治とデモクラシー 国際社会のなかの日本	小テスト 課題 討論・発表 学習の振り返り等	○	○	○	22
	・恐慌と国際関係、軍部の台頭と対外政策、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開などを基に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ、第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会、国民生活の変容を理解する。	第二次世界大戦と日本 昭和恐慌と立憲政治の動揺 中国侵略と戦時体制への移行	小テスト 課題 討論・発表 学習の振り返り等	○	○	○	11
	定期考査			○	○	○	1
3 学期	過去の大学入試問題に取り組み、実践力を高める	過去問演習	小テスト 課題 討論・発表 学習の振り返り等	○	○	○	35
	定期考査			○	○	○	1 合計 140

年間授業計画（令和8年度）

久留米西高等学校 令和4年度以降入学生用

教科 地理歴史

科目 日本史教養

教科： 地理歴史 科目： 日本史教養 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（1～6組：田中）

使用教科書：（詳説日本史 日本史探究（山川出版社））

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 歴史的事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、相互の関連などに着目して、概念などを活用して考察したり、課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察したことを説明・議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 諸事象について、課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 日本史教養 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
知識：諸事象の因果関係や、世界と日本を広い視野で捉え、近現代の歴史を理解する。 技能：諸資料から歴史に関する様々な情報を適切にまとめる技能を身につける。	諸事象の意味や歴史的意義、特色などを、比較・推移・相互の関連等に着目しながら考察し、課題について考察する力を身につける。	諸事象についての課題を主体的に追求・解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察を通して、他国や自国の文化を尊重することの大切さを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	・ 岡大戦期の日本の振り返り	昨年の日本史探究の授業の振り返り	観察 ノート 発言 話し合い活動	○	○	○	2
	・ 昭和恐慌と立憲政治の動揺 ・ 中国侵略と戦時体制への移行 ・ 戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開	・ 昭和初期の政治の特徴について、政治・経済体制の変化に着目しながら考察する。 ・ 日本が中国での戦争を拡大し、その結果どのような影響を社会に与えたのかについて、国際社会やアジア近隣諸国との関係について考察する。	観察 ノート 発言 話し合い活動	○	○	○	10
	・ 占領と日本国憲法の成立	・ 占領政策と諸改革、日本国憲法の成立、戦後の経済復興など、我が国の再出発及びその後の政治・経済や対外関係について理解する。	観察 ノート 発言 話し合い活動	○	○	○	11
	定期考査			○	○	○	1
2 学 期	・ 占領と日本国憲法の成立 ・ 冷戦の開始と経済復興 ・ 国際社会への復帰と対米協調 ・ 高度経済成長	・ 戦後、政治や経済、社会などでどのような改革が進められたのかについて理解する。 ・ 国際情勢の変化が、政治や経済、社会にどのような影響をおよぼしたのかを考察する。	観察 ノート 発言 話し合い活動	○	○	○	14
	・ 1970年代の国際社会と日本 ・ 安定成長への転換	高度経済成長期の日本では、経済と社会でどのような変化がおきたのか考察する。 ・ ベトナム戦争から沖縄返還までの流れを考える。	観察 ノート 発言 話し合い活動	○	○	○	13
	定期考査			○	○	○	1
3 学 期	・ 激変する世界と日本 ・ 21世紀の日本	冷戦の影響、グローバル化の進展の影響、国民の生活や地域社会の変化などに着目して、政治、日本経済、国際社会における日本の役割について、考察し、表現させる。	観察 ノート 発言 話し合い活動	○	○	○	7
	・ 1年間の復習	興味のある「歴史的現象・人物」について調べ発表する。	観察 ノート 発言 話し合い活動	○	○	○	10
	定期考査			○	○	○	1 合計 70

年間授業計画（令和8年度）

久留米西高等学校 令和4年度以降入学生用

教科 **地理歴史**科目 **世界史教養**

教科：地理歴史

科目：世界史教養

単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（月曜日：菅澤）（金曜日：遠藤）（組：）（組：）（組：）（組：）

使用教科書：（）

教科 **地理歴史** の目標：

【知識及び技能】 諸地域の歴史的特質の形成、諸地域の交流・再編、諸地域の結合・変容、地球世界の課題について、自ら情報を調べまとめる技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】 諸事象を多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握・考察・構想したことを説明したり、議論する力を身につける。

【学びに向かう力、人間性等】 諸地域の歴史的特質に理解を深め、近現代の歴史については、課題を主体的に追究・解決しようとする態度を養う。また、他国や自国の文化を尊重することの大切さを深める。

科目 **世界史教養** の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
諸地域の歴史的特質の形成、諸地域の交流・再編、諸地域の結合・変容、地球世界の課題について、自ら情報を調べまとめる技能を身につける。	諸事象を多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握・考察・構想したことを説明したり、議論する力を身につける。	諸地域の歴史的特質に理解を深め、近現代の歴史については、課題を主体的に追究・解決しようとする態度を養う。また、他国や自国の文化を尊重することの大切さを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	【単元名】 世界史へのまなざし 文明の成立と古代文明の特質	【目標】 オリエン特文明、インダス文明などを基に、古代文明の歴史的特質を理解する。 古代文明に関わる諸現象の背景や原因、結果や影響、事象相互関係などを読み取り、関連性や意義を多面的・多角的に考察し、表現する。 古代文明の歴史的特質について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする。	【知識・技能】 オリエン特文明、インダス文明、中国文明などを基に、古代文明の歴史的特質を理解することができる。 【思考・判断・表現】 古代文明に関わる諸現象の背景や原因、結果や影響、事象相互関係などを読み取り、関連性や意義を多面的・多角的に考察し、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 古代文明の歴史的特質について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする。	○	○	○	10
	【単元名】 西アジアと地中海周辺の国家形成	【目標】 西アジアと地中海周辺の諸国家などをもとに、西アジアと地中海周辺の歴史的特質を理解する。 西アジアと地中海周辺の歴史に関わる諸現象の背景や原因、結果や影響、事象相互関係などを読み取り、関連性や意義を多面的・多角的に考察し、表現する。 西アジアと地中海周辺の歴史的特質について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする。	【知識・技能】 西アジアと地中海周辺の諸国家などをもとに、西アジアと地中海周辺の歴史的特質を理解することができる。 【思考・判断・表現】 西アジアと地中海周辺の歴史に関わる諸現象の背景や原因、結果や影響、事象相互関係などを読み取り、関連性や意義を多面的・多角的に考察し、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 西アジアと地中海周辺の歴史的特質について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
2 学期	【単元名】 イスラーム教の伝播と西アジアの動向	【目標】 キリスト教とイスラーム教の成立とそれらを基盤とした国家の形成などをもとに、西アジアと地中海周辺、ヨーロッパの歴史的特質を理解する。 西アジアと地中海周辺、ヨーロッパの歴史的特質について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする。	【知識・技能】 キリスト教とイスラーム教の成立とそれらを基盤とした国家の形成などをもとに西アジアと地中海周辺、ヨーロッパの歴史的特質を理解することができる。 【思考・判断・表現】 西アジアと地中海周辺、ヨーロッパの歴史に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のかかわりなどを読み取り、関連性や意義を多面的・多角的に考察し表現することができる。 【主体的に学習する態度】 西アジアと地中海周辺、ヨーロッパの歴史的特質についてよりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究解決しようとする。	○	○	○	13
	【単元名】 東アジアの展開とモンゴル帝国	西アジア社会の動向とアジアの相互関連に着目して、主題を設定し、諸資料を比較したり、関連付けたりして読み解き、諸地域の特色を多面的・多角的に考察し、表現する。 西アジア社会の動向とモンゴル帝国の展開について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする。	【知識・技能】 西アジア社会の動向とモンゴル帝国の繁栄とその展開を構造的に理解することができる。 【思考・判断・表現】 西アジア社会の動向とアフリカ・アジアの相互関連に着目して、主題を設定し、諸資料を比較したり、関連付けたりして読み解き、諸地域の特色を多面的・多角的に考察し、表現することができる。 【主体的に学習する態度】 西アジア社会の動向とモンゴル帝国の繁栄とその展開について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする。	○	○	○	14
	定期考査			○	○	○	1
3 学期	【単元名】 アジア諸帝国の繁栄	【目標】 アジア諸帝国の繁栄を構造的に理解する。 アジア諸帝国の相互関連に着目して、主題を設定し、諸資料を比較したり、関連付けたりして読み解き、諸地域の特色を多面的・多角的に考察し、表現する。 アジア諸帝国の繁栄とその展開について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする。	【知識・技能】 アジア諸帝国の繁栄とその展開を構造的に理解することができる。 【思考・判断・表現】 アジア諸帝国の相互関連に着目して、主題を設定し、諸資料を比較したり、関連付けたりして読み解き、諸地域の特色を多面的・多角的に考察し、表現することができる。 【主体的に学習する態度】 アジア諸帝国の繁栄とその展開について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする。	○	○	○	18
							合計 70